

はじめに 「短所逆転法」でダメなところが自信に変わる 001

## 第1章 本当の自分は、短所を受け入れるところから始まる

短所こそ調和の必需品 010

「飽きっぽい」は切り替えの速さの証 015

「正解は一つではない」と肝に銘じる 020

「控えめ」という上等な生き方 025

「瞬間湯沸かし器」はパフォーマンスにもなる 030

「マイペース」は「せっかち」を助ける 035

「根気のなき」が新発見を生む 039

笑う門に福が来るとはかぎらない 043

「ないものねだり」よりも適材適所 048

「神経質」を見せずに大成する 052

辛辣な批判は直感力が鋭いのかも 056

「朝令暮改」が物事を好転させる 060

プライドが高くていいではないか 065

## 第2章 短所は見逃してもいい、欠陥なら叩き潰せ

小さな短所は見逃せ、欠陥は叩き潰せ 072

約束を守る人間、守れない人間 077

心配性の人は「解決策」を探さない 083

「拗ねる人」は既に戦う資格がない 088

「ありがとう」を素直に伝えるか 093

礼儀作法は単純だが、軽いものではない 098

「食」は生き方の相性を表す	103
「他人の耳」へのデリカシーを持って	108
他人の心情を「察する」ことができるか	113
表情や仕種はコミュニケーションの名脇役	117
「口が堅い」が賢者の必須条件	122
「眼力」に自信がないから素性が気になる	128
「お節介人間」は傍迷惑だ	132
社内恋愛の「私情」とどう付き合うか	137

### 第3章 短所を生かして、前へ一歩踏み出せ

「不遇」はハンデにはならない、個性だ	142
「叱る他人」に心から感謝できるか	147
「裏方」でも「花形」になる道がある	153
傷ついても、バカにされてもいいではないか	158
「人嫌い」は「人好き」の裏返し	164
「すみません体質」は仕事の潤滑油	171
考えすぎは「しょうがない」で受け流せ	177
積極的に「許す、諦める、忘れる」	181
「儉約」より、「人付き合い」にお金を使え	186
羨む気持ちを憎悪に変えるな	191
「大人の論争」がいい関係をつくる	195
「すべて応援なのだ」と叱責に鈍感になれ	200

第4章 世間の常識は気にするな 自分らしさを伸ばしていけ

- 「目をつむる」ことで人を育てる 208  
「ハッター」から長所を生み出せ 213  
常識よりも「自分の感覚」を信じろ 217  
「口がうまい」が身を助けることもある 223  
「笑い」をスマートに活用する 228  
「勤続疲労」のないスキルを磨け 233  
「年齢」で人を語るな 238  
「お金以外のモチベーション」で働く 243  
執念深さは時にカッコいい 248  
おわりに 「変わり者」でいいではないか 252

第1章

本当の自分は、  
短所を受け入れるところから始まる